



分光観測による 散開星団に属する ポストTタウリ型星の探査

水本 拓走 兵庫県立大学 博士前期課程2年

伊藤 洋一 兵庫県立大学

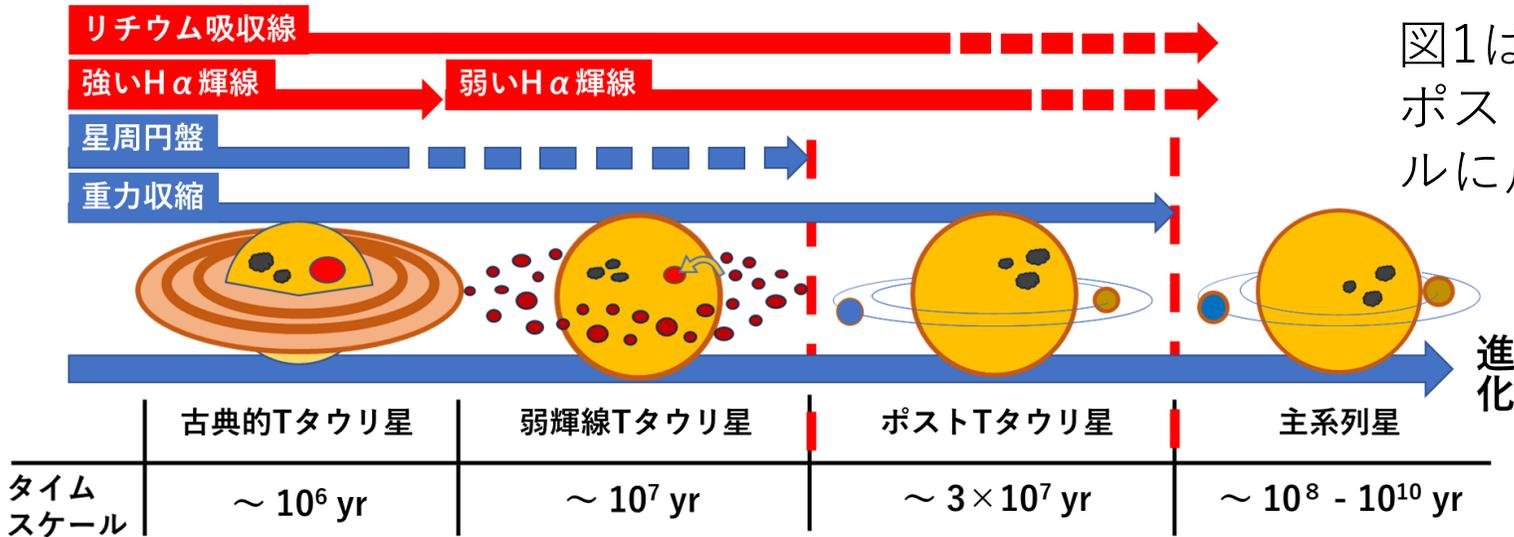


図1 太陽質量程度の恒星の進化

位置と運動に基づいて選ばれた散開星団候補天体 (Itoh 2024) から、分光データをもとにPTTSを探索した。LAMOSTとなゆた望遠鏡の分光観測データを使用した。

ZAMS(零歳主系列星)より若く、リチウムの吸収線が検出され、H α 線が吸収線として検出されたPTTSの候補天体を**107天体**特定した。

図1は太陽程度の質量を持つ星の進化を表す。ポストTタウリ星(PTTS)は、タイムスケールに反して発見数が少ない。

主系列星と混同されていると考えられる、PTTSを特定する。

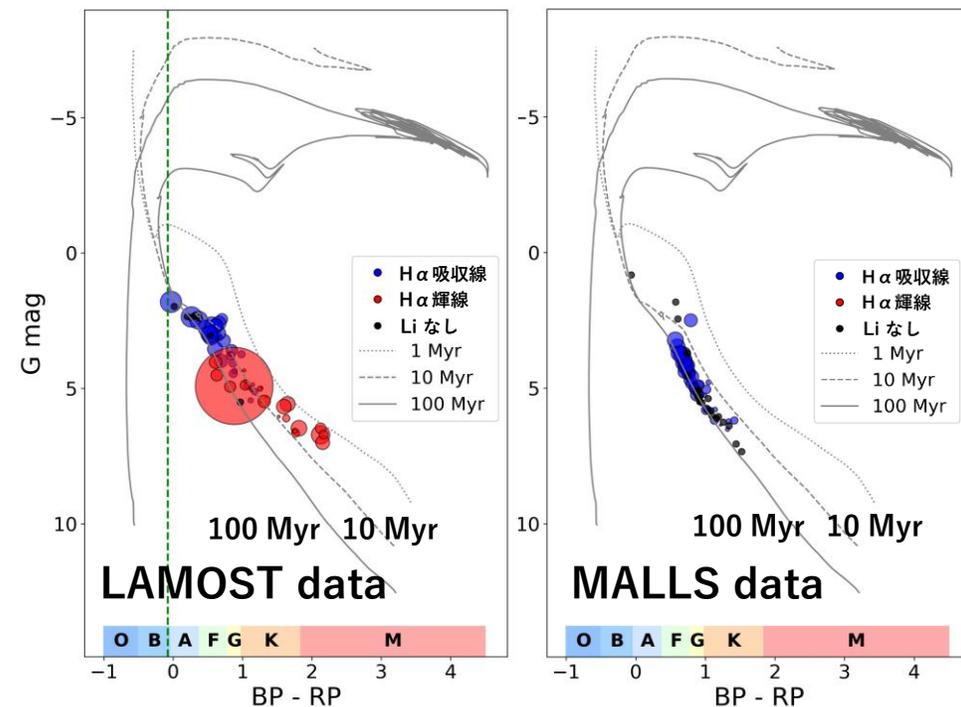


図2 色等級図とH α 等価幅